

対象施設	旧女川交番
------	-------

【重要度の評価】 ※現地保存を前提として評価

意義	項目	評価の観点	評価意見
② 災害文化の伝承	③ 地域を越えたメッセージ性と次世代への継承	破壊力の痕跡	津波の破壊力を示す痕跡が残されているか ・ 鉄筋コンクリート造の建物が津波で被災したというのは日本では初めての事例であり、また、大規模な津波で倒壊、転倒したという事例は世界的に見ても少ない。 ・ 小規模かつ単純な構造であることから、一見しただけで被災状況がわかるという点で、専門家はもちろん、そうでない人にとっても貴重である。
		教訓	どのような教訓を導き出し得るか ・ この交番が残ることにより津波への恐怖感を与えるということが、教訓になる。 ・ 建築学会において、津波に対しての構造設計法、特に浮力に対する構造基準が作られており、津波避難ビル等をどのように設計するかということについて、大きな教訓を与えてくれる。
		発信力	発信力があるか またはその可能性はあるか ・ 建築の構造技術者等の関係者にとっては、非常に貴重で関心の高いものである。歴史的にも価値が高い。 ・ 町内で同様に転倒した他の建物の被災状況や、被災前の状況も分かるように展示するなど、合わせて情報発信することで、発信力が一層高まる。
① 鎮魂	鎮魂	鎮魂の場としての性格を有するか またはその可能性はあるか ・ 交番での直接の犠牲者はないが、周辺、町全体では多くの人が犠牲になっている。そのような説明も加え、町の象徴的な遺構となれば、町全体の鎮魂の場になる可能性があり、外から来た人にとってもそのようになると考えられる。	

★ 総合評価 ★

1 震災遺構として、ぜひ保存すべき	
2 震災遺構として保存する意義は認められる	
3 上記1,2以外のもの	

【意見】

その他

- ・鉄筋コンクリート造であるため、比較的保存がしやすい。
- ・周辺を公園として整備するとされているが、美しく残すことにきめ細かく配慮することで、保存する価値は高まると考えられる。
- ・メモリアル公園内に震災遺構として保存されることで、土地利用を阻害しないことや、情報発信に有効であるとの評価もできる。
- ・遺構を見たくないという人もいるので、その心情にも配慮があると良い。

震災遺構の評価検討シート(案)

対象施設	野蒜駅プラットフォーム
------	-------------

【重要度の評価】 ※現地保存を前提として評価

意義	項目	評価の観点	評価意見
② 災害文化の伝承	③ 地域を越えたメッセージ性と次世代への継承	破壊力の痕跡	津波の破壊力を示す痕跡が残されているか ・線路が途切れている様子など、震災時にどのようなことが起きたのかを想像させる力、心の中に絵を描かせる力がある。 ・よく見るとあちらこちらに被災の痕跡が残っている。それが分かるようにパネル等で示していくことが大事である。 ・一見何の変哲もないように見えるが、よく見ると線路が湾曲しているなど、津波の痕跡が感じられる。
		教訓	どのような教訓を導き出し得るか
	発信力	発信力があるか またはその可能性があるか ・駅の遺構は他にはないので希少性があり、遺構として価値がある。 ・東名駅での電車の被災や避難など鉄道施設ならではの逸話なども合わせて紹介することで、発信力がさらに高まると思われる。 ・旧駅舎内に周辺の被害状況も展示することで発信力が一層高まる。 ・駅東側にある東名運河が津波の力を弱めたと言われている。県でも運河群を復興の象徴と位置づけたビジョンを策定しているので、連携して広く発信していくことにより、発信力がさらに高まる。	
① 鎮魂	鎮魂	鎮魂の場としての性格を有するか またはその可能性があるか	

★ 総合評価 ★

1	震災遺構として、ぜひ保存すべき	
2	震災遺構として保存する意義は認められる	
3	上記1,2以外のもの	

【意見】

その他

・プラットフォームだけでなく、線路や軌道なども一体としたゾーンとして捉えた方が、遺構としてのインパクトがある。

震災遺構の評価検討シート(案)

対象施設	かんぽの宿松島及びその付帯施設
------	-----------------

【重要度の評価】 ※現地保存を前提として評価

意義	項目	評価の観点	評価意見
② 災害文化の伝承	③ 地域を越えたメッセージ性と次世代への継承	破壊力の痕跡	津波の破壊力を示す痕跡が残されているか ・ 宿泊施設は1階部分によりやく被災の痕跡が分かる程度で、特段津波の破壊力は感じられないが、スポーツ施設には津波の破壊力の凄まじさを感じる。 ・ スポーツ施設は被災状況も非常に大きなインパクトがあり、遺構として価値がある。 ・ スポーツ施設は鉄骨造、宿泊施設は鉄筋コンクリート造で、構造によって被災程度が異なっており、両方の関連を説明して残すことで意義がある。
		教訓	どのような教訓を導き出し得るか ・ 宿泊施設の4階に避難して利用客や住民が助かったというのは、ポジティブな教訓として評価できる。 ・ 宿泊施設は海に向かって曲面になっているため津波を受け流す効果があり被災程度が小さいことに繋がった。その受け流した力が隣のスポーツ施設にぶつかり、大きな被害となった。建物の建て方という点では教訓があると言える。
		発信力	発信力があるかまたはその可能性があるか ・ 民間の宿泊施設というのはこれだけであり、希少と言える。
① 鎮魂		鎮魂の場としての性格を有するかまたはその可能性があるか	

★ 総合評価 ★

1	震災遺構として、ぜひ保存すべき	
2	震災遺構として保存する意義は認められる	
3	上記1,2以外のもの	

【意見】

その他

遺構としての価値がはっきり認められるのはスポーツ施設であり、総合評価で宿泊施設をどう位置づけるか。
 ・スポーツ施設は保存する意義はあると思われ、分けて考えた方がよいのではないか。
 ・宿泊施設とスポーツ施設をセットで遺構ゾーンとして捉えることができるのではないか。
 ・遺構としてはスポーツ施設とし、宿泊施設はその関連施設と整理することもできるのではないか。
 ・改修し宿泊施設として営業する施設を遺構と位置づけられるのか。
 ・市は遺構というものを広く解釈しているのではないかと。住民の意向をもっとよく把握し、遺構として保存する理由付けも明確にした方がよい。

震災遺構の評価検討シート(案)

対象施設	野蒜小学校
------	-------

【重要度の評価】 ※現地保存を前提として評価

意義	項目	評価の観点	評価意見
② 災害文化の伝承 ③ 地域を越えたメッセージ性と次世代への継承	破壊力の痕跡	津波の破壊力を示す痕跡が残されているか	・ 1階部分のサッシが壊れているところに痕跡が見られる。そのような弱いところが壊れて、主体的な構造が守られるという面がある。内部はトイレ等の設備関係が大きな被害を受けており、痕跡が残っている。外側からみると分かりにくい面があるが、津波の破壊力の痕跡は残っていると言える。
	教訓	どのような教訓を導き出し得るか	・ 野蒜小学校と浜市小学校は、海からの距離はほぼ同じだが、野蒜小は東名運河が津波を弱めた一方、浜市小は近くの川を遡上した津波が脇から来たということで危険度に差があり、両方を保存し比較することで地理的条件によって被災状況が変わるという教訓になる。 ・ 児童や住民などが避難し、助かった人も体育館で犠牲になった方もおり、ポジティブな教訓とネガティブな教訓の両方がある。
	発信力	発信力があるかまたはその可能性があるか	
① 鎮魂	鎮魂	鎮魂の場としての性格を有するかまたはその可能性があるか	・ 体育館では亡くなった人もおり、その後遺体安置所にもなったということもある。体育館は解体されているが、津波の直接的な痕跡ということだけでなく、社会的な対応の部分についてゾーンとして残していくのであれば、評価できる。

★ 総合評価 ★

1	震災遺構として、ぜひ保存すべき	
2	震災遺構として保存する意義は認められる	
3	上記1,2以外のもの	

【意見】

その他

- ・学校は大きな施設であり、どうやって残していくのか。経年劣化したときに市の重荷にならないか心配である。
- ・管理コストの面から、使えるものは使っていきたいと考えたものと思われる。被災前と同じ用途で活用するもの、用途を変えて活用するものがあり、それらをどう考えるか。また、他の再利用されている施設との違いが分かりにくい。
- ・遺構についての市としてのスタンスが疑問である。
- ・校舎の一部を残して他の部分は活用するというケースであり、判断が難しい。

震災遺構の評価検討シート(案)

対象施設	浜市小学校
------	-------

【重要度の評価】 ※現地保存を前提として評価

意義	項目	評価の観点	評価意見
② 災害文化の伝承	③ 地域を越えたメッセージ性と次世代への継承	破壊力の痕跡	津波の破壊力を示す痕跡が残されているか ・ 1階部分のサッシが壊れているところに痕跡が見られる。そのような弱いところが壊れて、主体的な構造が守られるという面がある。内部はトイレ等の設備関係が大きな被害を受けており、痕跡が残っている。外側からみると分かりにくい面があるが、津波の破壊力の痕跡は残っていると言える。
		教訓	どのような教訓を導き出し得るか ・ 野蒜小学校と浜市小学校は、海からの距離はほぼ同じだが、野蒜小は東名運河が津波を弱めた一方、浜市小は近くの川を遡上した津波が脇から来たということで危険度に差があり、両方を保存し比較することで地理的条件によって被災状況が変わるという教訓になる。 ・ 1933年の昭和三陸地震の後に危険区域として県令が出されたが、また人が住み始めて学校ができてしまった地域であり、現物を残すことによって被害を伝えていくという警告としての教訓の意義がある。 ・ 避難した児童らが上階に避難して全員助かっており、ポジティブな教訓がある。
	発信力	発信力があるか またはその可能性があるか	
① 鎮魂		鎮魂の場としての性格を有するか またはその可能性があるか	

★ 総合評価 ★

1	震災遺構として、ぜひ保存すべき	
2	震災遺構として保存する意義は認められる	
3	上記1,2以外のもの	

【意見】

その他

- ・学校は大きな施設であり、どうやって残していくのか。経年劣化したときに市の重荷にならないか心配である。
- ・管理コストの面から、使えるものは使っていきたいと考えたものと思われる。被災前と同じ用途で活用するもの、用途を変えて活用するものがあり、それらをどう考えるか。また、他の再利用されている施設との違いが分かりにくい。
- ・遺構についての市としてのスタンスが疑問である。
- ・校舎の一部を残して他の部分は活用するというケースであり、判断が難しい。

震災遺構の評価検討シート(案)

対象施設	門脇小学校
------	-------

【重要度の評価】 ※現地保存を前提として評価

意義	項目	評価の観点	評価意見
② 災害文化の伝承 ③ 地域を越えたメッセージ性と次世代への継承	破壊力の痕跡	津波の破壊力を示す痕跡が残されているか	
	教訓	どのような教訓を導き出し得るか	
	発信力	発信力があるか またはその可能性はあるか	
① 鎮魂	鎮魂	鎮魂の場としての性格を有するか またはその可能性はあるか	

★ 総合評価 ★

1 震災遺構として、ぜひ保存すべき	
2 震災遺構として保存する意義は認められる	
3 上記1,2以外のもの	

【意見】

その他

震災遺構の評価検討シート(案)

対象施設	中浜小学校
------	-------

【重要度の評価】 ※現地保存を前提として評価

意義	項目	評価の観点	評価意見
② 災害文化の伝承	破壊力の痕跡	津波の破壊力を示す痕跡が残されているか	
	教訓	どのような教訓を導き出し得るか	
	発信力	発信力があるか またはその可能性はあるか	
① 鎮魂	鎮魂	鎮魂の場としての性格を有するか またはその可能性はあるか	

★ 総合評価 ★

1 震災遺構として、ぜひ保存すべき	
2 震災遺構として保存する意義は認められる	
3 上記1,2以外のもの	

【意見】

その他

震災遺構の評価検討シート(案)

対象施設	気仙沼向洋高校
------	---------

【重要度の評価】 ※現地保存を前提として評価

意義	項目	評価の観点	評価意見
② 災害文化の伝承 ③ 地域を越えたメッセージ性と次世代への継承	破壊力の痕跡	津波の破壊力を示す痕跡が残されているか	
	教訓	どのような教訓を導き出し得るか	
	発信力	発信力があるか またはその可能性はあるか	
① 鎮魂	鎮魂	鎮魂の場としての性格を有するか またはその可能性はあるか	

★ 総合評価 ★

1 震災遺構として、ぜひ保存すべき	
2 震災遺構として保存する意義は認められる	
3 上記1,2以外のもの	

【意見】

その他